

神奈川県社保協ニュース

神奈川県社会保障推進協議会【NO. 21-4】 2021年9月30日発行
横浜市中区桜木町3-9 平和と労働会館 6F TEL045-201-3900 FAX045-212-5745

いよいよ総選挙!! 市民と野党の共闘で新しい政権を!!

いよいよ、歴史的な総選挙が実施されます(報道では11月7日投票日)。9月29日には自民党の総裁選が行われ、岸田総裁となりました。菅首相の政権投げ出しは、コロナ対応の無為無策、強権政治と腐敗に対する国民の怒りに迫り詰められた結果です。自民党と公明党はその失政に共同責任を負っており、岸田総裁となっても新しい政治とはなりません。

自公政権は、2021年通常国会で、病床削減の医療法等「改正」、75歳以上の医療費を2倍化する健康保険法等「改正」を強行しました。「全世代型社会保障改革」と称して、社会保障制度の公的責任の放棄、自助・互助型への変質を加速度的にすすめてやっています。

9月8日、「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」と野党4党(立憲民主党、日本共産党、社会民主党、れいわ新選組)による「衆議院総選挙における野党共通政策の提言—命を守るために政治の転換を—」が交わされました。

提言は、「新型コロナウイルスの感染の急拡大の中で、自公政権の統治能力の喪失は明らかとなっている。政策の破綻は、安倍、菅政権の9年間で情報を隠蔽し、理性的な対話を拒絶してきたことの帰結である。この秋に行われる衆議院総選挙で野党協力を広げ、自公政権を倒し、新しい政治を実現することは、日本の世の中に道理と正義を回復するとともに、市民の命を守るために不可欠である」と記しています。

野党4党の共通政策		安倍・菅政権の対応
安保法制、秘密保護法、共謀罪法などの違憲部分を廃止し、コロナ禍に乘じた憲法改悪に反対	憲法・平和	集団的自衛権の行使を容認する違憲の安保法制などを強行し、立憲主義を破壊。9条改憲に固執
核兵器禁止条約の批准をめざし、まずは締約国会議へのオブザーバー参加に向け努力		核兵器禁止条約に背を向ける態度を取り続ける
沖縄・辺野古での新基地建設を中止		沖縄県民の民意を踏みつけ、戦没者の遺骨の眠る土砂を使って新基地建設を強行
医療費削減政策を転換し、医療・公衆衛生の整備を迅速に進める	コロナ対応	病床削減推進法など医療・公衆衛生切り捨ての新自由主義の政治を推進
コロナ禍で倒産や失業などの打撃を受けた人や企業を救う万全の財政支援		中小企業を支援する持続化給付金や家賃支援給付金を1回きりで打ち切り
消費税減税を行い、富裕層の負担を強化するなど公平な税制を実現	格差・貧困	大企業・富裕層に減税で優遇する一方、低所得者の負担が重い消費税増税を推進
石炭火力から脱却し、原発のない脱炭素社会を追求	環境	石炭火力の新増設を続け、原発再稼働・新増設が前提のエネルギー政策を推進
選択的夫婦別姓制度やLGBT平等法などを成立させ、性暴力根絶に向け法整備を推進	ジェンダー平等	選択的夫婦別姓制度の導入に背を向け、LGBT理解促進法案を先送り
議員間男女同数化(パリテ)を推進		次期総選挙での女性候補の比率目標定めず
森友・加計問題、桜を見る会疑惑など、権力私物化の疑惑を真相究明する	権力私物化	公文書改ざん、隠蔽、虚偽答弁を繰り返す、疑惑の真相究明に背
日本学術会議の会員を同会議の推薦通りに任命		日本学術会議会員候補6人の任命を拒否し続ける

社会保障改悪ストップ、医療、介護、福祉など、ケアをささえる政治に!!

神奈川県社保協は6月の2021年度総会で、「総選挙で、国民のくらしと民主主義を破壊し続けている菅政権の退陣を求め、市民と野党の力で新しい政権を実現しよう」と呼びかけました。来る総選挙は、国民の命がかかった選挙、コロナ危機を踏まえて新しい日本をつくる選挙です、市民と野党の共闘による政権交代、新しい政権の実現をめざす選挙です。公立・公的病院の削減・統廃合の推進、75歳以上の医療費の窓口負担を来年10月から2倍に値上げ、これらをストップさせる。医師、看護師、保健師、介護士、保育士など、医療、介護、福祉、公衆衛生にかかわる人の増員を求めます。国民に冷たく、富裕層にあたたかい、中小企業に厳しく、大企業は守る新自由主義の政治は、もう終わりにして、命と暮らしを何よりも大切にする政治に切り替えましょう。

「介護の自己責任化」ではなく「介護の社会化」をめざそう！！

9月4日の「介護保険のいまと未来を考えるつどい 2021」は、会場参加

24人、ZOOM35ヶ所（横浜北部、医療生協かながわ、茅ヶ崎民商が集团視聴）と70人を超える人が参加。短時間の開催でしたが、「学習講演」と「取り組み交流」を行い、コロナ禍のなかでの困難な現状について共有し、介護保険制度の現状と改善方向を学び、今後介護保険制度の抜本的な改善を求め、運動を広げていくことを確認しました。

つどいは、県社保協加盟の団体と労働組合、介護事業者や生協などでつくる実行委員会の主催。

介護保険のいまと未来を考えるつどい



コロナ禍の介護報酬改定は「加算」の対応次第ではマイナス改定になる！！

実行委員の星めぐみさん（生協労連ユーコープ労働組合）が、司会を兼ねて開会あいさつ。学習講演では、全日本民医連事務局次長（京都民医連事務局長）の松田貴弘さんから、「2021年度介護報酬改定の内容と問題点～介護保険制度の改善めざして～」のテーマで講演をうけました。格差が拡大し社会保障予算が削られるなかで、今回のコロナ禍のなかでの介護報酬改定が「加算」の対応次第ではマイナス改定になるような水準にとどまると指摘しました。「基本報酬は、ほぼ全てのサービスで引き上げたが、訪問介護は0.2%～0.6%程度、一方で居宅介護支援は1.8%、通所系も1%～5%と、各サービスで上がり幅に違いがあり、とりわけ訪問系には厳しい改定となっている」。「ただし通所系も、通所介護は個別機能訓練の見直し、通所リハ（訪問リハも）では一番算定が多い『リハマネ加算Ⅰ』が基本報酬に『マルメ』こまれるなど、実質は『マイナス改定』」。「厚労省は『基本報酬を引き上げた』としているが、各サービス毎では『メリハリ』をきかした改定になっているので、『加算対応』を意識しないと『0.65%の引上げ』どころか、加算対応次第ではマイナス改定になることもある」。「施設系では口腔衛生管理と栄養管理の取り組みがより評価される」。「また廃用や寝たきりの防止の観点から『日中、いかに離床させて生きがい支援につなげていくかが評価される』（介護給付費分科会 日本医師会 江澤常任理事）。見守り機器を導入した場合の夜間人員配置の緩和、介護職員不足をテクノロジーで補うなど、問題の多い改定内容について詳しく話されました。

今後、後期高齢者2割負担に続き、介護利用料の原則2割化などの負担増が狙われており「介護の自己責任化」ではなく「介護の社会化」をめざす必要がある。横浜市長選挙の勝利に続き、市民と野党の共闘の前進で、より良い介護制度をめざそうと呼びかけられました。質疑に対して丁寧でわかりやすく答えていただきました。

取り組み交流では、ユーコープ労組から地域密着型通所介護事業所で訪問介護のパートの方、登録型ヘルパーで働いている方、介護事業所こみゅにてい事業者の工藤さんから、コロナ禍での深刻な実態についてお話しされました。そして、民医連の片倉博美さんのまとめとあいさつで閉会しました。

「実際に介護報酬が改定されてからのお話でしたので、とても解りやすく勉強になりました」。「松田さんの講演はわかりやすく資料もあり理解できました。職場でも共有したいと思います」。「新自由主義により社会保障を自助・互助を中心とするものへと変えられていることが、介護保険の変遷の中でよく理解できました。また、『自己負担は当たり前』がいかに日本社会に浸透させられているかも実感させられました」など感想が寄せられました。

～☆☆～ 11月11日は、「いい介護の日」 ～☆☆～

介護・認知症 なんでも
無料 電話相談

とき 11月11日(木)
10時～17時

でんわ 0120-110-458



お気軽にお電話下さい！

新型コロナウイルスの感染拡大で、介護サービスを利用できない、家族介護の負担が増えて大変になったなど様々な悩みはありませんか。

また、高齢化がすすむなか、お金の心配なく安心して介護サービスを受けたいがどうすればよいかわからないませんか？

一人で悩まず、介護の専門家や介護従事者の相談員が電話をお待ちしています。

神奈川県社会保障推進協議会

横浜市中区桜木町 3-9 TEL:045-201-3900 FAX:045-212-5654

原告証人尋問、被告・国側を圧倒！！

神奈川生存権裁判

神奈川生存権裁判も大詰め。ヤマ場の原告証人尋問が9月8日行なわれました。横浜地裁には尋問の場には出ない原告10名を含む大勢の支援者の皆さんが駆けつけてくださいました。この裁判での大事な場面を共に見守りました。6名の原告代表は被告側反対尋問にも毅然とした態度で臨み、「反論」を寄せ付けませんでした。傍聴した方々からは「感動した」「涙が出た」の声が相次ぎました。



6人の原告に花束贈呈

終了直後に、6人の皆さんに「ひとこと」感想をお聞きしましたのでご紹介します。筒井さん「思ったほど緊張しなかった。息子の喫煙のこと、尋ねられなくてほっとしました」。加賀さん「収入認定のことで反対尋問が来るかなとは思っていました。言い足りなかった。もっと文句をつけてやればよかった」。阿田川さん「私は、趣味を持って、せめて気持ちのうえでは豊かに生きたいです」。佐々木さん「いやあ、緊張しましたよ（いえいえ、堂々とされていましたと傍聴席の声）」。高橋さん「被告側が唯一、突っ込んできたところがPCとTVの購入というのが、意地でも物価偽装を正当化したいのかなと思いました」。柴田さん「反対尋問で取り上げて来たのはTVと靴下。もうちょっと勉強してきて欲しかったです」。

終了後は会場を年金者組合に移して「報告会&労う会」を開催、コロナ禍での定員一杯まで、大勢の支援者が会場を埋め尽くしました。井上弁護団長からは「支援者と一体となったリハーサル、何より6人の皆さんの厳しい練習の成果」と賛辞を送られました。6人の皆さんからは熱い感謝の言葉が続き、裁判勝利に向けて決意を新たにすることが出来ました。

12月13日（月）に行われる学者・専門家に対する証人尋問で結審します。判決は来春以降ではないかと推測されます。公正な判決を求める裁判所への署名を大きく広げましょう。（神奈川生健会事務局より）

インボイス制度の問題点と打開策を考える

消費税ネットシンポ

9月24日、消費税を含めた税のあり方を考えるネットワーク（消費税ネット）は、10月から申請の届け出が開始されたインボイス制度（適格請求書等保存方式）の問題点と打開策を考えるシンポジウムを開催しました。会場参加34人、ZOOM視聴50ヶ所で、約100人が参加しました。

司会（進行役）の仙田正志さん（建設労連書記長）が主催者あいさつ。益子良一さん（元東京地方税理士会副会長）が、「インボイス制度のしくみと問題」を講演しました。「インボイス制度は2023年10月1日からの施行だが、この10月から申請の届け出が開始される」。「インボイス制度が導入されると、インボイスを交付できない者からの仕入れは『課税仕入れに係る消費税』を控除できない」。「インボイス制度の導入は地域経済に大きな混乱と打撃を与えかねない」と警鐘を鳴らしました。「消費税の仕組みから免税業者は取引先から排除される」。「設備や事務手続きに過大な負担が生じ小規模事業者にとっては存続にかかわる問題」と指摘しました。

その後、建築業、運送業、商店主、農業の方が発言し、各政党（公明党、立憲民主党、日本共産党、社民党）からのビデオメッセージ、討論、質疑応答を行いました。益税対策とされていることにたいし、益子さんは「法人税、所得税は払っている。益税という実態はない」と回答。保険医協会の田所生利理事（歯科医）が「インボイス制度は開業医も影響を受ける。保険医協会としても問題としていく」とあいさつし閉会しました。



日本高齢者大会に神奈川から67人参加

9月23日、コロナ禍で1年延期された日本高齢者大会 in ながのが開催され、神奈川からはオンラインで67人が参加しました（長野県と全国で約2000人参加）。

「高齢者のいのち・健康・人権を守る政治への転換めざし、衆院選・市民と野党共闘の勝利で75歳以上医療費窓口2倍化中止を実現させよう」との大会アピールを採択。

午前、政治学者の中野晃一氏が記念講演し、市民連合と野党4党が合意した共通政策を踏まえ、個人の尊厳を擁護し育むための政治をめざすべきだと強調しました。午後は、5つの分科教室に参加しました。

11.13「全県国保改善交流集会」の参加をすすめましょう！！

11.13 2021全県国保改善交流集会

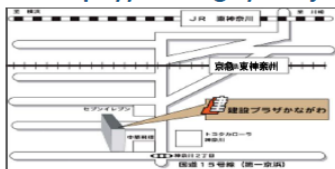
市町村国保の保険料軽減めざして

11月13日(土)
13:30~16:30
(13:00開場)

建設プラザかながわ
4F 会議室
+ ZOOM視聴

＜参加申し込みフォーム＞

<https://forms.gle/ik6GjtBL3AmBxDCMA>



＜主催＞神奈川県社会保障推進協議会

☎045-201-3900 FAX・045-212-5745

Eメール:info@kanagawa-shahokyou.jp

＜講演＞

「コロナ禍での市町村国保、
現状と改善めざして」

神田敏史さん（神奈川県自治労連委員長）



- ◆「2021市町村国保調査の概要報告」（県社保協より）
- ◆「討論」（各市町村での取り組み報告など）
- ◆「国保改善に向けた取り組み提起」（県社保協より）

※総選挙の日程により、延期になる場合があります。

日本国内で新型コロナウイルスの感染が発生して、1年と10カ月余りが経過しました。医療や公衆衛生をはじめ社会保障制度に深刻な影響を与えています。コロナ禍のもとで、医療の受診抑制が広がり、市町村国保も翻弄されています。

19年度から21年度までどう変化したのか、県社保協から「21年度の市町村国保調査」の概要を報告し、保険料の軽減に向けた自治体要請のポイントなどを提起します。

18年度から、国保の都道府県単位化がはじまり、国は統一化をすすめる方向です。神田敏史さんに、神奈川県市町村国保の状況と今後の改善をめざす取り組みへの示唆をいただきます。

払える国保料にしていくために、「市町村国保の保険料軽減めざす」地域での運動の前進につながる交流会とします。

11月13日（土）に開催予定の全県国保改善交流集会は、神田敏史さんに、「コロナ禍での市町村国保、現状と改善めざして」と題してのお話しをしていただきます。県社保協から「2021年度の市町村国保調査」の概要を報告。保険料の軽減に向けた自治体要請のポイントなどを提起し、論議します。払える国保料にしていくための、地域での運動の前進につながる交流会とします。会場参加とともに、ZOOM 接続による視聴参加を併用しますので、積極的な参加促進をお願いします。

＜10月の主な行動・会議日程＞

- 10月1日（金）県社保協第4回常幹 14:00 建設プラザ3F 会議室
- 10月4日（月）高齢者の命を守る政治への転換めざす決起集会 & 国会行動 11:00 参議院議員会館
- 10月6日（水）中央社保協運営委員会 13:30 医療労働会館会議室（ZOOM 会議）
消費税ネット世話人 & 事務局会議 19:30 保険医協会
- 10月8日（金）県社保協第4回幹事会 14:00 保険医協会会議室
- 10月12日（火）県民要求連絡会事務局団体会議 13:00 県庁地下会議室
- 10月14日（木）いのちまもる 10.14 総行動 13:00 日比谷野外音楽堂（+オンライン参加）
- 10月17日（日）平和問題学習会「私はなぜ大飯・高浜原発を止めたのか」 14:00 保険医協会会議室
- 10月21日（木）国民大運動実行委員会世話人団体会議 9:00 平和と労働会館 4F 会議室
- 10月22日（金）消費税廃止各界連宣伝行動 14:00 伊勢佐木町有隣堂前
県社保協介護保険改善委員会 15:30（ZOOM 会議）
介護のつどい実行委員会 16:30（ZOOM 会議）
- 10月23日（土）はたらく女性の中央集会分科会 13:30 中野サンプラザ（Web 併用）
- 10月24日（日）はたらく女性の中央集会全体会 13:30 銀座ブロッサム（Web 併用）
- 10月27日（水）JAL 解雇争議の早期解決めざす宣伝行動 17:30 横浜駅西口高島屋前
- 10月30日（土）全労連 介護・ヘルパーネット総会 13:30 全労連会館+（ZOOM 会議）